

第2期  
牛久市まち・ひと・しごと創生  
総合戦略

2021-2024

(概要版)

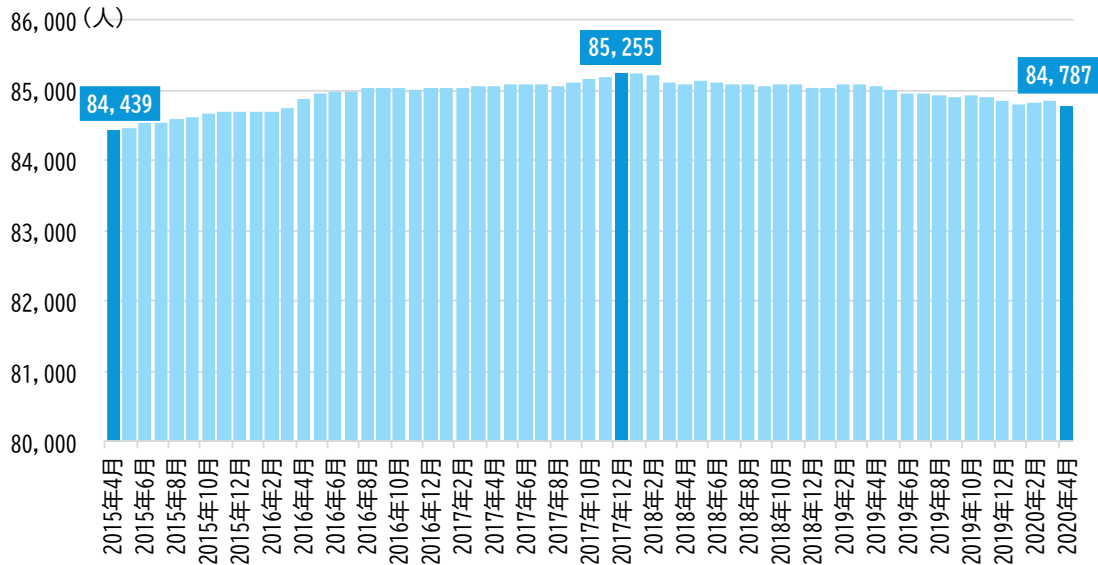
うしく、うしく。

2021年3月 茨城県牛久市

# 人口の動向①

## ◆総人口の推移

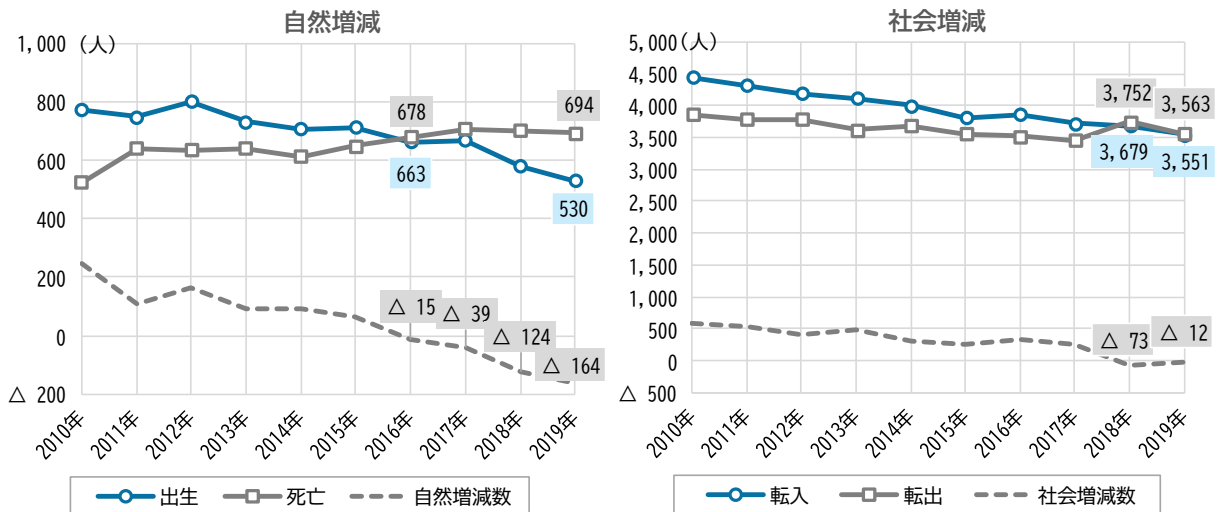
長年増加してきた本市の総人口は 2017 年 12 月をピークに減少に転じました。



資料:住民基本台帳

## ◆自然増減と社会増減

2016 年以降、出生数よりも死亡数が多い「自然減少」に転じ、2018 年以降、転入数よりも転出数の多い「社会減少」に転じたことにより、総人口が減少しています。



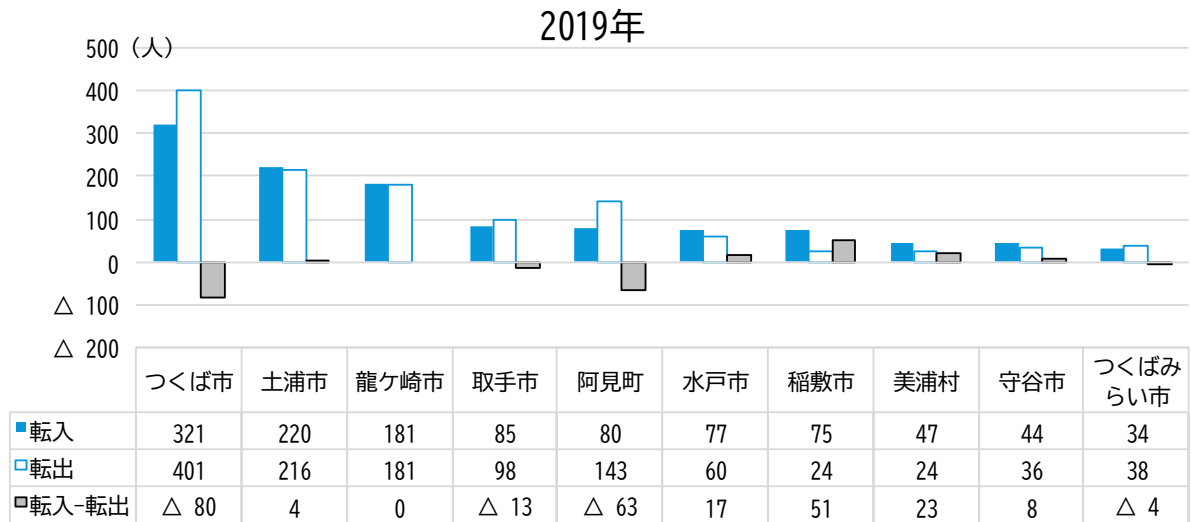
資料:常住人口調査

→人口を維持していくためには、出生数の増加と転入促進、転出抑制の  
3つの視点で取り組む必要があります。

## 人口の動向②

### ◆県内他市町村間の人口移動(転入数トップ10の市町村間の状況)

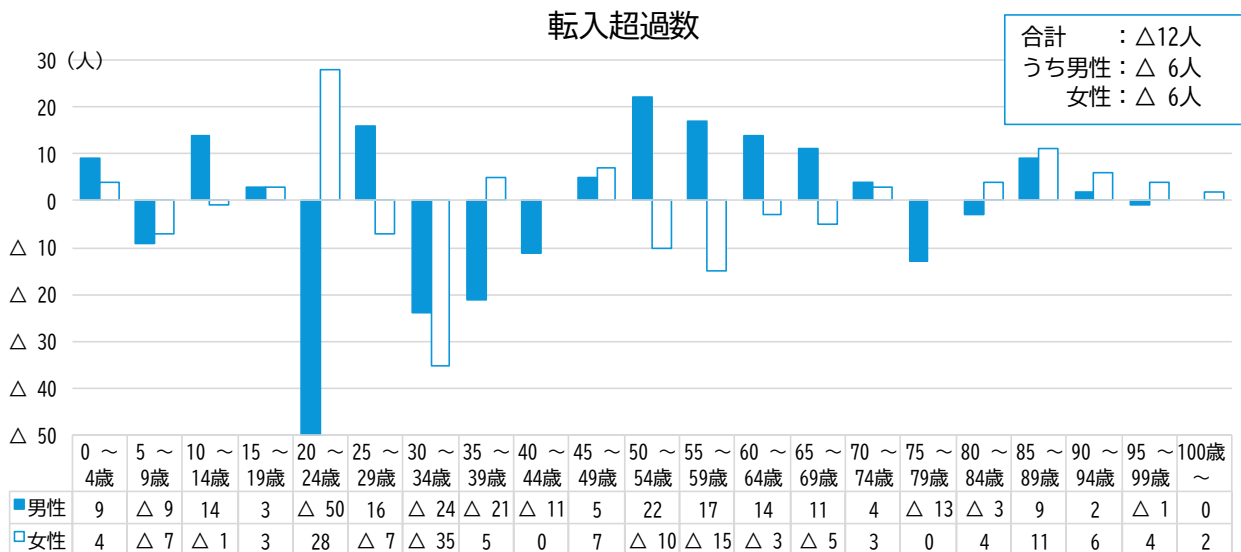
2019年は、近年転出者よりも転入者のほうが多かったつくば市、阿見町で転出超過となりました。



資料:常住人口調査

### ◆年齢別の人口移動

2019年は、これまで転入超過が続いてきた子育て世代(30歳代)が転出超過になりました。



資料:常住人口調査

→ひとの流れが変わってきており、これまでとは異なる視点で

新しいひとの流れづくりに取り組むことが必要です。

# 基本目標

総合戦略は、4つの基本目標と1つの横断的な目標を掲げて取り組みます。

## 基本目標1. 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

- 出生数の減少傾向、30歳代の転出超過傾向は、本市の少子化を加速させることにつながります。
- 未婚率と平均初婚年齢の上昇が続いており、これらも出生数の減少につながっています。
- そのため、市内での出会いと結婚の支援、妊娠・出産・子育て・教育に関する切れ目ない支援、仕事と家庭生活の調和を図りやすい働き方の支援などに取り組みます。

## 基本目標2. 牛久とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる

- これまで、近隣市町村の子育て世代がひたち野うしく駅周辺地区に転入することで人口が増加してきましたが、つくば市や阿見町で転出超過に転じました。
- 東京圏のベッドタウンから近隣市町村のベッドタウンに変化してきた本市のひとの流れに変化がみられます。
- 一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で、テレワーク実施企業が急増し、東京圏からの流出が起きている。
- こうした変化を好機と捉え、都市から50kmの「ちょうどいい田舎」として、東京圏等からの新しいひとの流れづくりに取り組みます。

## 基本目標3. 牛久に魅力ある「しごと」を増やす

- 本市はベッドタウンとして人口の流入が続いてきましたが転出超過に転じており、転出を抑制するためには、自宅に近い市内で働く市民を増やしていくことも必要です。
- 農業分野では、後継者のいない農業者の高齢化による廃業、耕作放棄地の増加が大きな問題となっています。
- 市内で働く市民を増やすための市内企業の生産性向上、起業・創業、企業誘致などにより市内に魅力ある「しごと」を増やすこと、また意欲的な農業者の支援により市内農業の「しごと」としての魅力向上に取り組みます。

## 基本目標4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

- 牛久駅周辺の市街地では、商業店舗や飲食店の撤退、若者の流出などにより、まちのにぎわいが低下しています。
- 牛久駅周辺地域や東部の農村地域では、買い物弱者や交通弱者対策、地域コミュニティの維持など、地域ごとの課題を抱えています。
- それぞれの地域の生活利便性を確保し、にぎわいを創出し、子どもから高齢者まで、すべての市民が安心快適に暮らせる魅力的な地域社会をつくるため、地域の資源(ひと・もの・こと)を総動員して取り組んでいきます。

## 横断的な目標. シティプロモーション

- 本市にとってのシティプロモーションとは、まずは市民に本市の魅力を深く知ってもらうことで「牛久への郷土愛」を醸成し、市民が本市の魅力を外に拡散する「シティプロモーター」になってもらうこと、その魅力に関心を持った市外の人々が本市を検索し、来訪してファンになってもらう、また来てもらう、住んでもらう、住み続けてもらう、というつながりであると考えています。
- 様々なかたちで市民とのコミュニケーションと活性化させ、市民との協働のまちづくりを推進するとともに、庁内ではシティプロモーションに対する職員の意識改革を進め、情報マネジメント能力を強化し、「オール牛久」で市と市民が一体となったシティプロモーションを展開します。

# 施策体系

4つの基本目標と基本施策の体系は次の通りです。

基本目標	基本施策		
1. 若い世代の結婚・ 出産・子育て・教育の希望を かなえる	1-1. 牛久での出会いと結婚の支援		
	1-2. ずっとつながる 子育て・教育支援	1-2-1. 預かり支援	
		1-2-2. 相談支援	
		1-2-3. 経済的支援	
1-2-4. 保幼小中連携			
1-3. 新しい働き方で子育てと仕事の両立支援			
2. 牛久との つながりを築き、 新しいひとの流れをつくる	2-1. ちょうどいい 田舎暮らしの実現支援	2-1-1. テレワーカーの移住促進	
		2-1-2. 市内企業への就業促進	
		2-1-3. 空家の流通促進	
		2-1-4. 農業後継者、新規就農希望者への支援	
	2-2. 農業を軸とした関係人口の創出		
3. 牛久に魅力ある 「しごと」を増やす	3-1. 活力ある産業の創出	3-1-1. 市内事業者への支援	
		3-1-2. 起業・創業支援	
		3-1-3. 企業誘致の推進	
	3-2. チャレンジする農業者への支援		
4. ひとが集う、 安心して暮らすことができる 魅力的な地域をつくる	4-1. 住みやすい便利な まちづくり	4-1-1. 駅周辺地域における生活機能の向上	
		4-1-2. 集落地における生活利便性の確保	
	4-2. 市民も観光客も 楽しめるまちづくり	4-2-1. 観光まちづくりの推進	
		4-2-2. 文化のまちづくりの推進	
	4-3. 安心して生き生きと 暮らせる地域づくり	4-3-1. 医療・福祉サービス機能の充実	
		4-3-2. 地域コミュニティの維持・強化	
		4-3-3. 自然環境の保全・地域循環型社会の推進	
	横断的な目標。シティプロモーション		

## 基本目標 1. 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

### 【数値目標】

指標	基準値	目標値 (2024 年度)
婚姻届取扱件数	775 件 (2019 年)	775 件
出生者数	545 人 (2019 年)	545 人
仕事と家庭生活のバランスが取れていると感じる市民の割合	市民意識調査により設定 (2021 年度)	前年度以上

### 施策 1-1. 牛久での出会いと結婚の支援

#### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値 (2024 年度)
ふれあいパーティー参加者のうち、牛久市民の割合	41.6% (2019 年度)	50%
出会いサポートセンター登録者のうち牛久市民の結婚人数	9 人 (2019 年度)	9 人

#### 【取組内容】

- ①結婚を希望する男女の出会いの場を提供する団体への支援

### 施策 1-2. ずっとつながる子育て・教育支援

#### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値 (2024 年度)
保育園待機児童数・国基準	0 人 (2020 年 4 月 1 日)	0 人
放課後児童クラブ待機児童数	42 人 (2020 年 4 月 1 日)	0 人
子育て支援が充実していると感じる子育て世代の割合	市民意識調査により設定 (2021 年度)	前年度以上

#### 【取組内容】

#### 1-2-1. 預かり支援

- ①保育需要にあわせた施設整備と保育士不足解消のための処遇改善
- ②「病児・病後児保育」「延長保育」「一時預かり」などの保育サービスの充実
- ③放課後児童クラブの運営による共働き世帯等支援

#### 1-2-2. 相談支援

- ①「子ども家庭総合支援拠点」の設置
- ②「子育て世代包括支援センター」の充実
- ③「地域子育て支援拠点事業」の運営
- ④質の高い幼児教育を提供する「幼児教育センター」の整備
- ⑤専門家を活用した不登校・いじめ・虐待等の早期解消

#### 1-2-3. 経済的支援

- ①不妊や不育症に対する治療費、予防接種費用、医療費など、妊娠期から子育て期の経済的負担軽減

#### 1-2-4. 保幼小中連携

- ①保幼小の幼児・児童の交流活動の推進
- ②小中一貫したアクティブラーニングの推進

### 施策 1-3. 新しい働き方で子育てと仕事の両立支援

#### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値 (2024 年度)
コワーキングスペース等の箇所数	0 箇所 (2020 年度)	1 箇所以上

#### 【取組内容】

- ①託児所と連携したコワーキングスペース等の設置による乳幼児のいる親のテレワーク支援
- ②女性等の就業機会の拡大を図る ICT の活用能力向上支援

## 基本目標 2. 牛久とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる

### 【数値目標】

指標	基準値	目標値（2024年度）
各種事業実施による移住者数	2021年度から集計	集計後に設定
社会増減数（転入者数－転出者数）	△12人（2019年）	+1人以上

## 施策 2-1. ちょうどいい田舎暮らしの実現支援

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値	目標値（2024年度）
テレワーカーの移住者数 （各種事業内で把握できた人数）	2021年度から集計	集計後に設定
各種事業実施による市内企業就職者数 （地元就職、UIターン）	2021年度から集計	集計後に設定
空家・空地バンク成約件数（累計）	24件（2019年度）	45件
各種事業実施による新規就農者数	2人（2019年度）	2人

### 【取組内容】

#### 2-1-1. テレワーカーの移住促進

- ①テレワークをきっかけとしたUターンやIターンへの支援

#### 2-1-2. 市内企業への就業促進

- ①市内企業の魅力発信と求人・求職のマッチング

#### 2-1-3. 空家の流通促進

- ①空家・空地バンクによる若い世代への空家の流通促進

#### 2-1-4. 農業後継者、新規就農希望者への支援

- ①Iターンなどによる新規就農希望者に対する空家の紹介や農地の仲介
- ②農業後継者や新規就農希望者に対する農地の紹介や技術指導

## 施策 2-2. 農業を軸とした関係人口の創出

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値	目標値（2024年度）
農業ヘルパー制度利用者数	40人（2019年度）	43人
農産物オーナー数	258人（2019年度）	300人
元気農園の利用者数	183人（2020年度）	343人
農業体験開催支援数	0件（2019年度）	1件
および参加者数	0人（2019年度）	10人

### 【取組内容】

- ①農業ヘルパー制度活用による農業に関心を持つ若者の増加促進
- ②農産物のオーナー制度、農業体験などによる農村交流の促進
- ③首都圏立地の強みを活かした観光農園や貸し農園としての農地活用
- ④市内農業者等が取り組む収穫体験やピザづくり体験などのイベント開催支援

## 基本目標3. 牛久に魅力ある「しごと」を増やす

### 【数値目標】

指標	基準値	目標値（2024年度）
各種事業実施によって創出された就業者数	2020年度から集計	集計後に設定
認定農業者数	93人（2019年度）	100人
認定新規就農者数	8人（2019年度）	10人

## 施策3-1. 活力ある産業の創出

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値	目標値（2024年度）
事業計画策定支援件数	7件（2019年度）	15件
創業に係る事業計画策定支援件数	4件（2019年度）	4件
事業実施による創業者数	9者（2019年度）	10者
創業希望者・企業誘致に関する相談件数	8件（2019年度）	10件

### 【取組内容】

#### 3-1-1. 市内事業者への支援

- ①市内事業者の生産性向上と人手不足の解消促進
- ②後継者不在の経営者に対する事業承継支援

#### 3-1-2. 起業・創業支援

- ①創業塾の開催などによる創業希望者への支援
- ②市内の空き店舗と創業希望者のマッチング

#### 3-1-3. 企業誘致の推進

- ①「オーダーメイド方式」による企業の誘致
- ②つくば牛久 IC 周辺における周辺地域の自然環境や農地の状況に配慮した流通・業務地の整備検討
- ③阿見東 IC 周辺における周辺地域の自然環境や農地の状況に配慮した流通・業務地の整備検討

## 施策3-2. チャレンジする農業者への支援

### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値	目標値（2024年度）
農地の貸付件数	1,819件（2019年度）	2,000件
農産物の付加価値向上支援件数	0件（2019年度）	1件
認定農業者における女性農業者数	8人（2019年度）	10人
事業実施による特産品・食品メニュー開発数	0品（2020年度）	1品

### 【取組内容】

- ①認定農業者や認定を目指す農業者などへの重点支援
- ②施設園芸農家や露地野菜農家の高付加価値化支援
- ③女性農業者の積極的な参加・協力の促進
- ④市内調理専門学校と農業者の連携による特産品の開発



## 基本目標4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

### 【数値目標】

指標	基準値	目標値（2024年度）
市街地に生活利便施設が充実していると感じる市民の割合	市民意識調査により設定 （2021年度）	前年度以上
牛久駅を中心とした市街地の活性化が進んでいると感じる市民の割合	市民意識調査により設定 （2021年度）	前年度以上
安心快適に暮らせるまちだと感じる市民の割合	市民意識調査により設定 （2021年度）	前年度以上

### 施策4-1. 住みやすい便利なまちづくり

#### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値	目標値（2024年度）
牛久駅周辺地域の都市機能誘導施設の立地件数	37件（2019年度）	37件
ひたち野うしく駅周辺地域の都市機能誘導施設の立地件数	14件（2019年度）	14件
生活が不便だと感じる市民の割合	市民意識調査より地域別に 集計して設定（2021年度）	前年度以下

#### 【取組内容】

#### 4-1-1. 駅周辺地域における生活機能の向上

- ①牛久駅周辺地域における商業施設や交流、福祉サービス等の集積促進
- ②牛久駅周辺の空き店舗への商店・飲食店などの誘致
- ③ひたち野うしく駅周辺地域における商業、子育てサービス等の集積促進
- ④ひたち野うしく駅周辺地区への小売店や企業の誘致
- ⑤市街地に隣接する市街化調整区域の市街化検討

#### 4-1-2. 集落地における生活利便性の確保

- ①一定程度の生活関連機能が集積している地域における生活利便性の維持・向上
- ②小学校区単位でのコミュニティ拠点の形成、生活基盤の維持、駅周辺地域との交通ネットワーク構築

### 施策4-2. 市民も観光客も楽しめるまちづくり

#### 【重要業績評価指標（KPI）】

指標	基準値	目標値（2024年度）
駅周辺地区で開催するイベントへの参加人数	8,500人（2019年度）	8,860人
観光プランの作成数	3件（2019年度）	3件
観光入込客数（牛久シャトー、牛久大仏）	601,000人（2019年度）	620,000人
市の文化財が保存・活用されていると感じる市民の割合	市民意識調査により設定 （2021年度）	前年度以上

#### 【取組内容】

#### 4-2-1. 観光まちづくりの推進

- ①牛久シャトーおよび牛久駅周辺における「歩いて楽しめるまちづくり」
- ②牛久市商工会青年部が進める「ピザの里」づくりへの支援
- ③「新しい旅のエチケット」を守りやすい環境整備
- ④観光案内などによる滞在時間増加と消費促進
- ⑤フィルムコミッションの推進によるロケ地観光客の増加促進
- ⑥日本遺産認定牛久シャトーなどの文化財の観光資源としての保存活用

## 4-2-2. 文化のまちづくりの推進

- ①小川芋銭、住井すゑら郷土の偉人の功績の次世代継承
- ②市民ギャラリーによるコミュニティ創出と駅周辺の活性化

## 施策 4-3. 安心して生き生きと暮らせる地域づくり

### 【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	基準値	目標値 (2024 年度)
医療・福祉が充実していると感じる市民の割合	市民意識調査により設定 (2021 年度)	前年度以上
地域の中で異なる世代の人と交流のある市民の割合	市民意識調査により設定 (2021 年度)	前年度以上
地域づくり活動に参加している市民の割合	市民意識調査により設定 (2021 年度)	前年度以上
空家を地域コミュニティ等のために活用している件数	1 件 (2019 年度)	2 件
省エネ・再エネのための取組を行っている市民の割合	市民意識調査により設定 (2021 年度)	前年度以上

### 【取組内容】

### 4-3-1. 医療・福祉サービス機能の充実

- ①制度・分野の枠を超えた多様な相談を受け止め、関係機関につなぐ機能の整備
- ②高齢者と障がいのある人を対象とした共生型サービスの整備など、地域包括ケアシステムの充実
- ③夜間・休日などの診療体制、小児救急医療体制等の拡充

### 4-3-2. 地域コミュニティの維持・強化

- ①地域の集会所をたまり場として常時開放する行政区への支援
- ②地域住民主体の福祉活動に取り組む地区社会福祉協議会への支援
- ③学校と地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」
- ④「あいさつプラスワン運動」による地域の中で顔の見える関係づくり
- ⑤行政区や PTA の役員などの性別の慣習見直しの推奨
- ⑥子育て中の「父親」が地域に馴染めるよう、子どもを中心としたネットワークづくりへの支援
- ⑦行政区への加入支援と活動に参加しやすい環境づくり
- ⑧空家等の地域福祉やコミュニティ活動などへの活用

### 4-3-3. 自然環境の保全・地域循環型社会の推進

- ①市民・事業者・行政が生物多様性の価値を共有し、里山や農地、河川を守る取り組みを推進
- ②混ぜればごみ、分ければ資源の考え方を普及し、市全体でごみの減量と再資源化を推進

## 横断的な目標. シティプロモーション

### 【重要業績評価指標】

指標	基準値	目標値 (2024 年度)
市の情報発信においてインターネットが効果的に活用されていると感じる市民の割合	市民意識調査により設定 (2021 年度)	前年度以上

### 【取組内容】

- ①最適な情報ツールの研究・実践による情報入手に関する市民の満足度向上
- ②SNS などを活用した効果的な PR 展開による市内外の人々の交流促進
- ③ホームページや SNS を活用した市内外への魅力発信